

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 22年 2月 3日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|---|-------|------------|
| 事業所番号 | 0170400303 | | |
| 法人名 | 有限会社 札幌すこやか介護サービス | | |
| 事業所名 | グループホーム すこやか | | |
| 所在地 | 札幌市西区発寒6条13丁目10番22号 (電話)011-668-0200 | | |
| 評価機関名 | 株式会社 サンシャイン | | |
| 所在地 | 札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F | | |
| 訪問調査日 | 平成22年1月27日 | 評価確定日 | 平成22年2月15日 |

【情報提供票より】(平成 21年 12月 28日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|-----------------|--------|-------------------|
| 開設年月日 | 昭和(平成)18年 3月 1日 | | |
| ユニット数 | 1 ユニット | 利用定員数計 | 9 人 |
| 職員数 | 11 人 | 常勤 3人、 | 非常勤 8人、 常勤換算 4.9人 |

(2) 建物概要

| | | |
|------|--------|-------|
| 建物構造 | 木造 造り | |
| | 2 階建ての | 2 階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|--------------|----------------|-----------------------------------|-------|
| 家賃(平均月額) | 35,000 円 | その他の経費(月額) | 光熱水費:20,000円 暖房費:8,000円(11-3月) | |
| 敷 金 | (有) 35,000円) | 無 | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有(円) (無) | 有りの場合 償却の有無 | 有 / 無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 400 円 | 昼食 | 400 円 |
| | 夕食 | 400 円 | おやつ | 150 円 |
| | または1日当たり 円 | | | |

(4) 利用者の概要(1月 27日現在)

| | | | | | |
|-------|-----------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 9 名 | 男性 | 5 名 | 女性 | 4 名 |
| 要介護1 | 2 名 | 要介護2 | 0 名 | | |
| 要介護3 | 3 名 | 要介護4 | 2 名 | | |
| 要介護5 | 2 名 | 要支援2 | 0 名 | | |
| 年齢 | 平均 82.3 歳 | 最低 | 67 歳 | 最高 | 94 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|---|
| 協力医療機関名 | 宮の沢総合クリニック、北海道脳神経外科記念病院、日の出歯科クリニック、静明館診療所 |
|---------|---|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームすこやかは地下鉄から徒歩15分の住宅街に位置し、1階が同法人経営の訪問介護やデイサービスなどで、2階がグループホームとなっている。近隣に大型店や商店、公園などがあり生活に便利な環境である。温かく家庭的な雰囲気があり、事業所内で室内犬や金魚が飼われ、利用者は毎日の世話を楽しみにしている。代表者は事業所の運営に熱心で、管理者とともにケアサービスの向上に取り組んでいる。従業員教育にも熱心で、職員が希望すれば可能な限り外部研修に参加できる教育環境が整っている。職員は明るく元気で、利用者は自宅で生活しているようにリラックスして毎日の生活を楽しんでいる。地域との交流も盛んである。

【重点項目への取組状況】

| | |
|------|---|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) |
| | 前回の外部評価での取り組み事項は特にないが、外部評価の内容をカンファレンスや運営推進会議の議題に取り上げ、家族等にも送付している。 |
| 重点項目 | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) |
| | 自己評価については、「サービス評価ガイドブック」を参考に、ホーム長とリーダーが中心となって全職員の意見を参考にし記載し、代表者と管理者が最終的にまとめ上げている。 |
| 重点項目 | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) |
| | 運営推進会議は地域包括センターや住民代表、利用者代表などが参加し、活動報告、参加者からの要望・助言、行事紹介など内容も充実し、議事録も整備されている。運営推進会議の際、参加者に利用者や職員と一緒に昼食を食べてもらったことがあるが、好評であった。 |
| 重点項目 | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) |
| | 家族等の訪問時に利用者の暮らしぶりを報告しており、必要時には電話で連絡している。対話の大切さを理解し、訪問時や運営推進会議では家族等の意見を良く聞くようにしている。重要事項説明書には外部の苦情受付機関を明示している。 |
| 重点項目 | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| | 町内会のゴミ拾いや盆踊りなどの行事に参加している。また、近隣の小学校の音楽発表会や運動会に参加させてもらい、毎月小学生が「学校だより」や「図書だより」を届けてくれるほか、毎年の小・中学校の「体験学習」に協力している。近所の方にお花や漬け物をいただいたり、地域のボランティアの方が毎月訪問し「読み聞かせ」やギター演奏を披露してくれるなど、地域との交流は盛んである。 |

2. 評価結果（詳細）

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|--|---|---------------------|----------------------------------|
| . 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 事業所の開設時から事業所独自の理念を作成し、5項目からなる理念の中には地域との連携を務める内容が示されている。 | | |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 理念は玄関に墨字で書かれたものを掲示している。また、職員が見やすい場所に理念の5項目の内1項目を掲示し、定期的に項目を入れ替えるなど職員が理解しやすいように工夫している。また、理念をカード化し、表面には内容の大枠を、裏面には全内容を印刷し、全職員が携帯している。職員は理念の5項目を全て重要であると理解している。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 町内会のゴミ拾いや盆踊りなどの行事に参加している。また、近隣の小学校の音楽発表会や運動会に参加させてもらい、毎月小学生が「学校だより」や「図書だより」を届けてくれるほか、毎年の小・中学校の「体験学習」に協力している。近所の方にお花や漬け物をいただいたり、地域のボランティアの方が毎月訪問し「読み聞かせ」やギター演奏を披露してくれるなど、地域との交流は盛んである。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 自己評価については、「サービス評価ガイドブック」を参考に、ホーム長とリーダーが中心となって全職員の意見を参考にして記載し、代表者と管理者が最終的にまとめ上げている。昨年の外部評価については、カンファレンスや運営推進会議で議題に取り上げるほか、家族等にも送付している。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|--|---------------------|--|
| 5 | 8 | <p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | <p>運営推進会議は地域包括センターや住民代表、利用者代表などが参加し、活動報告、参加者からの要望・助言、行事紹介など内容も充実し、議事録も整備されている。運営推進会議の際、参加者に利用者や職員と一緒に昼食を食べてもらったことがあるが、好評であった。今年は管理者の研修が長期にわたったこともあり、現在までに3回の開催に留まっている。</p> | | <p>今後は議題の内容や会議の進め方などを更に工夫して、2ヶ月に1回の開催を期待したい。</p> |
| 6 | 9 | <p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> | <p>市に対しては月1回、事業所の情報をメールで報告している。区に対しては運営推進会議の議事録を地域包括センターを通して送付している。また、市の管理者会議に出席し、区の管理者会議にも管理者や職員が出席して情報交換を行っている。</p> | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> | <p>家族等の訪問の折には利用者の日々の状況を報告している。「すこやかだより」と金銭出納の報告を毎月郵送しているほか、必要時にはいつでも電話で連絡している。</p> | | |
| 8 | 15 | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>対話の大切さを理解し、家族等の訪問時には気軽に何でも話し合える雰囲気作りに努めており、運営推進会議では意見を良く聞くようにしている。重要事項説明書には外部の苦情受付機関を明示している。</p> | | |
| 9 | 18 | <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>事業所の開設時から管理者の異動や離職はなく、常勤職員の離職もほとんどない。職員の離職の際には利用者に納得のいくように説明し、家族等にも説明している。毎月の「すこやかだより」には離職者本人からのメッセージを掲載し、離職後も事業所に遊びに来てもらうなど利用者のダメージを少なくするように配慮している。</p> | | |


| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|--|---------------------|----------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | <p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>内部研修として職員の入社時には新人研修を行っている。また、毎月の会議を利用して職員の勉強会を開催している。外部研修については法人として積極的に推進しており、職員が希望する研修には可能な限り参加できる。研修に参加後は研修報告書を提出し、会議で報告し全職員で共有している。</p> | | |
| 11 | 20 | <p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>同区はグループホームの数が多く交流や勉強会が盛んなので、管理者と職員は可能な限り出席し情報交換している。グループホーム同士でお互いの事業所の行事に参加したり、合同食事会を行ったりしている。また、他区のグループホームに新人研修として職員を派遣し合うなど同業者との交流を図っている。</p> | | |
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | <p>利用開始前に本人と家族等が見学に来て納得した上で入居している。本人が来られない場合は管理者が本人を訪問し、馴染みの関係を築くようにしている。入居後は家族等に頻繁に訪問してもらうよう依頼している。</p> | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | <p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p> | <p>職員は利用者を人生の大先輩として尊敬の念を持ち、一緒に生活する家族であるとの思いで日常のケアを行っている。職員は利用者「ありがとう」「大丈夫」「気を付けてね」など感謝や労いの言葉をもかけてもらったり、子供の愚痴を言った時にはたしなめられるなど、職員が教えられる場面は多い。</p> | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|--|--|---------------------|----------------------------------|
| .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1.一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 利用者の日頃の会話や家族等からの情報を基に生活アセスメントシートを作成し、介護の中で得られた情報を蓄積し思いや意向を把握している。 | | |
| 2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 新規の介護計画は、計画作成担当者が本人や家族の意向や思いを聞き取り、カンファレンスで全職員の意見を聞いて暫定的な介護計画を作成している。暫定の介護計画は利用者の日々の生活を見ながら職員全員で話し合い、1ヶ月後に見直しを行っている。 | | |
| 16 | 37 | 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 介護計画は毎月モニタリングを行い、家族の意見や全職員が記入したケースカンファレンスシートを基に6ヶ月毎に見直しを行っている。入院などによる身体的変化が生じた時は随時見直しを行い、現状に即した介護計画を作成している。家族等には来訪時に介護計画を説明し署名と確認印をもらい、遠方などで訪問時期が合わない場合は介護計画を郵送し確認を得ている。 | | |
| 3.多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 家族の希望や状況に応じて通院や透析などの送迎支援を行っている。同法人のデイサービスで行われる行事を見学したり、デイサービスの車を利用して外出することもある。利用者の希望で海を見に行ったり、コンサートやお墓参りなどの外出支援も行っている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|--|---|---------------------|----------------------------------|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 利用開始前からのかかりつけ医で診療が継続できるように支援している。受診は家族の送迎が基本であるが、状況に応じて事業所で送迎を行っている。2ヶ所の協力医療機関がそれぞれ月1回と月2回の訪問診療を行っている。歯科医の訪問診療も随時行っている。 | | |
| 19 | 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 利用開始時に「重度化した場合における対応に係る指針」と、急変した時に対応を共有するために「グループホームすこやか入居者様事前指定」の書類を作成し、説明して同意を得ている。看取りの状況になった時は改めて看取りに関する書類を作成して家族に説明する予定である。 | | |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 個人情報保護法の勉強会を行っており、排泄や入浴などの場で利用者のプライドを損なわないよう言葉遣いに注意している。また、個人記録は事務所で保管し、個人情報の取り扱いには職場以外でも十分注意するように職員に指導している。職員と実習生に対しては「機密及び個人情報の守秘に関する誓約書」を取り交わしている。 | | |
| 21 | 52 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 基本的な流れはあるが介護度や状況に応じて利用者一人ひとりに合わせたケアを行っている。喫茶店や外食、買い物、犬の散歩、銭湯など、利用者との会話の流れで希望に沿った柔軟な支援を行っている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|---|---|---------------------|----------------------------------|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | <p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> | <p>献立は当日の担当職員が食材の状況や利用者の希望を聞きながら決めている。また、じゃがいもや人参、トマト、葉物野菜など畑で一緒に収穫した旬の食材を取り入れている。下ごしらえや盛り付け、下膳、食器拭きなど利用者の状況に応じて参加してもらい、食事が楽しめるように支援している。職員と利用者は同じテーブルで会話をしながら楽しく食事をしている。</p> | | |
| 23 | 57 | <p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p> | <p>入浴は毎日可能で、利用者一人ひとりに応じて希望の時間帯に入浴できるように支援し、夕食後の入浴にも対応している。身体状況に応じて入浴時間や回数を考慮している。最低でも週2回以上は入浴してもらっている。季節にちなみ、菖蒲湯やレモン湯にして入浴を楽しめるように工夫している。</p> | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | <p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p> | <p>家事や畑仕事など利用者がなんらかの役割を持つよう支援している。月1回の外食や利用者の希望で夕食を近所の焼き鳥屋でとったり、買い物、ドライブ、様々な年間行事など楽しみごとは多い。また、塗り絵やちぎり絵、DVD鑑賞などの趣味の活動を行っている利用者もいる。ギター演奏、フラダンス、日本舞踊などのボランティアの訪問もある。</p> | | |
| 25 | 61 | <p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p> | <p>年間を通じて、事業所で飼っている犬と一緒に朝晩散歩をしたり、買い物や外食など天候や体調に合わせて戸外に出かけられるように支援している。希望に応じて毎日でも散歩ができるように支援している。</p> | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | <p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p> | <p>玄関にセンサーを付けることで利用者の出入りを把握し、日中は鍵をかけないケアに取り組んでいる。職員は常に利用者の状況を把握し、安全面に配慮している。</p> | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------|------|--|---|---------------------|----------------------------------|
| 27 | 71 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | マニュアルを作成して、年2回利用者と一緒に昼夜それぞれを想定した避難訓練を行い、消火器の使い方の講習も行っている。救急救命法の講習は職員全員が2年毎に受講している。運営推進会議で参加者に協力を依頼し、避難場所として近隣のグループホームと協力体制を整えている。職員の住居が近隣のため、緊急時に早期に駆けつけることが可能である。 | | |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 献立は当日の調理担当職員が作成し、管理者が毎月1回パソコンでカロリー計算をしている。昨年、協力医療機関の管理栄養士に献立表を見てもらい栄養バランスのチェックをしてもらったので、今後も継続していく予定である。食事と水分摂取量は全員個別に記録しており、一人ひとりの状態を把握して適切な対応を心掛けている。 | | |
| 2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 玄関や居間、廊下などに職員の手作りの装飾や利用者の正月の「書き初め」などが飾られており、室内でも季節感が感じられるように工夫がなされている。事業所内では室内犬や金魚が飼われており、利用者は毎日の世話を楽しみにしている。利用者は食卓テーブルやソファなど好みの場所で居心地良く過ごしており、ブラインドでの日差し調節や照明などもこまめに調節されている。 | | |
| 30 | 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室の入口には手作りの郵便受けと利用者が製作したブーケが飾られている。居室ごとに壁の色を変え利用者に分かりやすいようにしたり、湿度計を設置して状況に応じて加湿器を置くなどの配慮をしている。利用者には好みの物、使い慣れた家具や調度品を持ってきてもらい、落ち着いて過ごせるように工夫がなされている。 | | |

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。